



2022年4月12日

各 位

会 社 名 千代田化工建設株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 榊田 雅和
(コード番号 6366 東証スタンダード市場)
問合せ先 総務部長 渡邊 眞剛
(TEL 045-225-7734)

当社に係わる仲裁の和解による終了に関するお知らせ

当社がジョイントベンチャーを通じて参画したイクシス LNG プロジェクトに関し、そのサブコントラクターと、当該ジョイントベンチャーが行っていた仲裁（本仲裁）について、仲裁外で和解が成立しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 仲裁申立てから和解に至るまでの経緯

当社グループと日揮ホールディングス（株）及び米国 KBR 社で設立したジョイントベンチャー（JKC）は、2012年に ICHTHYS LNG PTY Ltd.（顧客）から液化天然ガス等生産設備に係る設計・調達・建設役務（本プロジェクト）を受注、プラント設備を引き渡し、顧客は2018年10月に液化天然ガスの生産・出荷を開始しています。JKCは、本プロジェクトの一部であるコンバインドサイクル発電設備（Combined Cycle Power Plant、以下「CCPP」）の設計・建設を、General Electric Company, General Electric International Inc., 並びに UGL Engineering Pty Limited 及び CH2M Hill Australia Pty. Limited の4社で組成されるコンソーシアム（「コンソーシアム」）に固定金額契約で発注しました。しかし、コンソーシアムが役務完了前に現場を離れたことを巡り、コンソーシアム及び JKC がそれぞれ仲裁・反訴を申し立ててきました。

コロナ禍を背景に、本仲裁は長期化しており、係争関連費用のますますの積み上がりや、大きな振れ幅のある仲裁を長期間にわたり追及するリスク等を再検討した結果、JKC を組成する3社は、早期に本仲裁の解決を図ることが最善の策であると判断し、コンソーシアムとの和解に同意しました。

(※当社「2022年3月期第3四半期決算短信 4.その他 1. ②サブコントラクターと係争中の事項」をご参照ください。)

2. 和解の相手側の概要

(1) 名称: General Electric Company

所在地: One River Road, Schenectady, New York 12345, United States of America

代表者の役職・氏名: Frederic Ribieras, GE Gas Power Projects Commercial Officer

(2) 名称: General Electric International, Inc.

所在地: 2 Corporate Drive, Suite 150, Shelton, Connecticut 06484-6239, United States of America

代表者の役職・氏名: Frederic Ribieras, GE Gas Power Projects Commercial Officer

(3) 名称: UGL Engineering Pty Limited

所在地: Level 8, 40 Miller Street, North Sydney, New South Wales 2060, Australia

代表者の役職・氏名: Michael Cooper, CIMIC General Counsel

(4) 名称: CH2M Hill Australia Pty. Limited

所在地: Level 6, 60 Martin Place, Sydney, New South Wales 2000, Australia

代表者の役職・氏名: Patrick Hill, Director

3. 和解の主な内容

JKC 及びコンソーシアムは、支払いの条件が成就した場合に、お互いが主張する CCPP に関連するクレームを、相互に全て取り下げることに合意しました。

4. 今後の見通し

イクシス LNG プロジェクトに関係する係争事案については、事態の進捗を踏まえこれまでも適時適切にリスクを見直してきており、今回の和解契約締結に際しては開示すべき業績への影響はありません。

以上